

反はん
歌か

一五〇八番

望もちぐたち 清きよき月つき夜よに 我わ妹ぎ子もに 見みせむと思おもひ
し ややどの橘たちばな

一五〇九番

妹いもが見みて 後のちも鳴なかなむ ほととぎす 花はな橘たちばなを
地つちに散ちらしつ

おほとものやかもち
大伴家持、紀女郎に贈る歌一首

一五一〇番

なでしこは 咲さきて散ちりぬと 人ひとは言いへど 我わが
標しめし野のの 花はなにあらめやも